



おきむら

興村脳神経外科クリニック通信

(毎月15日発行)
〈第37号〉H28. 1月



乾燥しておりますので
風邪等にご注意下さい♪

◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。
予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙
“健康診断のご案内”をご覧ください。

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第37号をお届けします。バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/>

皆様は正月に初詣をする習慣がありますか。私は結婚し子供が出来てからは家の近くの神社に毎年、参拝し家族の健康などを祈るようになりました。振り返ると独身時代の初詣は友人たちなどと集まるのが主目的で、行き先も有名な寺院、神社など様々でした。「規律」を「厳格」に守る「信仰」心をお持ちの方には叱られるのを覚悟で書きますが、日本人の信仰は「曖昧」なことが多いようです。よく語られる笑い話ですが、生まれた時には神社、結婚する時には教会、最期は寺院などという人も珍しくありません。でもこの「曖昧」さを敢えてよく言えば他を受け入れる「多様性」ということになるのかもかもしれませんね。いずれにせよ「信仰」の「自由」が認められている日本を誇らしく思っています。

さて今月の話題は『自由』と『規律』です。

以前にも何度か書きましたが、医療の世界においては絶対的で普遍的な『規律』はないと個人的には考えています。『信仰』の『自由』が認められているように、どの医療方針に従っていくかはあまり『厳格』に一つのものに拘るのではなく『多様性』を受け入れる事も必要になります。血圧やコレステロールの適正値、がん治療法、定期的健診の間隔などなど医療に関しては非常に多くの情報があり、どれを選択するかは『自由』です。ですからある医療方針に対して不安や疑問がある時にセカンドオピニオンを求めるのはとても良い事だと思います。信じられないものを信じなければいけない事ほど苦痛なものはないはず。一方で『自由』『多様性』は時に『曖昧』さに繋がります。ドクターショッピングと言って、たくさんの医者をつらね、何も決められない状況が時に起こりえます。セカンドオピニオンとドクターショッピングの違いは明確なものではないのですが、やはりある方針を定めたら、しばらくの間はその『規律』に従っていく事も大切なのではないのでしょうか。患者さんの選択の『自由』を尊重しつつ、患者さんのために必要であれば時には『厳格』な『規律』を要求するそんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。
70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。

◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック

